

授業科目

家族看護学

担当教員名 松井 由美子、西川 薫、手島 美子、高橋 智美、下山 博子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

本科目では、家族看護学の主な理論を理解し、家族アセスメントの方法を学ぶ。事例を用いて、家族の問題を明確化する過程を理解し、家族を支援する看護師の役割を知る。各発達に応じた家族援助のあり方も考察する。

授業の目的

家族看護学の理論や家族のアセスメントの方法について学習する。また、家族が抱える問題やその援助方法についても発達や対象に応じて考察する。

学習目標

1. 現代社会の家族の状況や看護における家族の重要性を知り家族看護学に興味をもてる。
2. 家族看護学に活用されている諸理論について説明できる。
3. 家族の機能・役割について説明できる。
4. 家族アセスメント・モデルの概要について説明できる。
5. 家族アセスメント・モデルを使用し事例の家族をアセスメントできる。
6. 発達段階に応じた家族援助の方法を考察する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	現代社会における家族の現状と家族看護学	講義	松井 由美子
2	家族看護学に活用されている諸理論、家族アセスメントの方法	講義・演習	松井 由美子
3	母性看護学領域の家族援助	講義	下山 博子
4	小児看護学領域の家族援助	講義	松井 由美子
5	精神看護学領域の家族援助	講義	西川 薫
6	成人看護学領域の家族援助	講義	手島 美子
7	老年看護学領域の家族援助	講義	高橋 智美
8	まとめ	演習・講義	松井 由美子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	家族看護学	小島操子監修、星直子編集	中央法規	2007年	2,600円+税	
参考書	家族看護学第4版 理論と実践	鈴木和子、渡辺裕子著	日本看護協会出版会	2012年	3,200円+税	
その他の資料						

評価方法

筆記試験(80%程度)レポート(20%程度)

履修上の留意点

看護のどの領域にも共通し、実習においても重要な科目ですから、積極的に学習を進めていきましょう。

オフィスアワー・連絡先

matsui@nuhw.ac.jp

研究室：K403号室

オフィスアワー：木曜午前中

授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。